

共学化問題凍結請願 県議会で継続審議に



西澤会長から浅野知事に要望書を提出。(知事室にて)

同窓会報

第37号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局
印 刷 仙台市青葉区川内瀬橋通一
創文印刷出版株式会社
☎二二一-五六五一(直通)
仙台市青葉区大手町六番二号

北陵健児1,000名大集合で集会を盛り上げよう 共学化問題大集会 開催!!

共学化の凍結請願を成功させ、宮城の教育の再建を

共学化問題について県議会に凍結請願中ですが、11月議会がヤマ場です。共学化凍結請願書連名グループで世論喚起の決起大集会を開催します。

仙台二高は18年度強行実施を迫られ、切羽詰った緊急事態にあります。

二高OBの意気込みを示すため、第一部に多数のご参加をお願いいたします。

(仙台市内および周辺市町村二高OB、1万名に案内配布)

日 時 平成16年12月8日15時開場 受付開始

第一部 16時～18時まで(OB中心)

基調講演 こどもの未来への、地域の責務

「男女共学」より、まず「学力向上」

特別講師 阿見 孝雄 氏(阿見孝雄事務所代表)
(学都ルネッサンス研究会代表)

第二部 18時～21時まで(生徒、保護者)

会 場 電力ホール

東二番町 東北電力ビル7階

主 催 共学化凍結請願書連名9グループ連絡会

共学化凍結要望書提出を

総会で決議（七月三日）

昨年七月、衝撃的な報道以来、種々な対応を行ってきた経過については、本年五月発行の同窓会会報共学特集号に掲載してありますが、五月二十五日開催の第三回常任委員会代表者会議の結論として、同窓会の正式決議機関である定時常任委員会、総会において、同窓会の意見書をまとめ、研究会作成資料を添えて県関係に提出することになった。

それに従い、六月七日の常任委員会、七月三日の総会において、仙台二高十八年度共学化実施の凍結の要望書を知事及び教育長に提出することが決議された。（別紙要望書参照）

要望書の提出にあたっては浅野知事・白石教育長に西澤

同窓会会长から直接手渡すことにし、日程調整の結果、七月二十日知事室において正式に同窓会からの凍結要望書が知事に手渡された。その際、田克彦共学問題研究会会長、柴

的なものであった。（別掲載参照）

月二十日知事室において正式に同窓会からの凍結要望書が

県議会への請願書提出を

決議（八月三十日）

高橋副会長から資料に基づき共学化問題は、十分な論議と関係者の理解と納得が必要で討をして欲しいことを要望した。これに対し知事からは決定事項であり変更は難しいとの話があったが正式には文書で回答を受け取ることになった。（別掲載参照）

凍結要望拒否の回答届く（八月二十三日）

県の回答が要望書に対してゼロに近い内容であったので八月三十日第四回常任委員代表者会議を開催、九月県議会への共学化凍結の請願書の提出を決議。請願については市内公立高校同窓会と協調して行うことになり、九グループが連名して提出を行った。

県議会文教警察委で請願審議に参考人招集

同窓会の総意として提出した要望書に対して知事及び教育長名での回答書が八月二十三日に届けられた。内容は研究会作成の国内外の資料は評価するが「性差による受験機会の制限は合理性がない」などの科学的裏づけに欠けたものであり、議論を避けた短絡

県立高校一律共学化に関する要望書

平成16年7月20日

宮城県仙台第二高等学校同窓会
会長 西澤潤一

宮城県仙台第二高等学校同窓会は、宮城県が計画している県立高校一律共学化について、同窓会独自に行った調査、情報収集によるデータによって判断をしたところ、共学化については更に最新の情報と科学的資料によって、慎重に検討することが重要と考えます。

これらをふまえて同窓会の正式議決機関である常任委員会、総会の議決を経て下記の要望をいたします。

I. 要望書の要旨

1. 仙台二高、18年度共学実施の凍結を要望いたします。
2. 地域の特性を生かし、納得性のある教育施策を要望いたします。

II. 要望書の内容 （資料添付）

1. 仙台二高18年度共学実施の凍結を要望します。

- 1) 共学化についての意識調査によると、保護者・生徒は仙台二高の別学について良かったとする肯定の意見が多く、共学推進意見は非常に少ないことが回答されております。（添付資料参照）

2) 同窓会報共学特集号に伴う全会員対象のアンケートの結果は賛成24%、反対72%であります。(添付資料参照)

いづれも無視することの出来ない同窓会員の意思表示であります、多数が母校の共学化に反対意見であり、懸念をもっていることは明白であります。

3) 本年1月から5月迄に3回にわたり行われた各回期常任委員代表者会議では、圧倒的な多数が共学反対の意見でしたが、その雰囲気のなかで賛成意見も提出されています。ただ、いづれも共通する条件は時間をかけて慎重に進めること、二高のみが先行する18年度実施に対する強い懸念であります。

4) 「共学が時代の流れ」「男女は一緒に学ぶべき」との論調がありますが、調査によると海外では共学についての見直しが進み、別学の優位性が指摘されつつあります。(添付資料参照)

国内外の情報を真摯に検討されるよう要望いたします。

18年度実施を凍結の上、慎重審議されることを強く要望いたします。

2. 地域特性を生かし、納得性のある施策を要望します。

1) 県の方針は県立高校一律共学化であります、地域による特性を考慮した教育行政が必要と考えます。少子化が進む地方の環境と大都市化している仙台市の教育環境は著しい違いがあります。地方高校、仙台市内公立高校についてもその地域の歴史・伝統・風土の特色に配慮した施策が行われることを要望いたします。

2) 仙台市内公立高校は伝統校と共学の新設校、共学の専門校がバランスされ、生徒が自分の意思で別学・共学を選択できる好ましい環境が整備されていると考えられます。この環境を変えるのであれば、関係者である学校、生徒、保護者、同窓会の納得が得られる科学的根拠を示されるよう要望いたします。

3. 共学化問題についての同窓会の正式検討会議

1.	15年10月31日	県教委の説明会	北陵館
2.	16年1月26日	第1回各期常任委員会代表者会議	北陵館
3.	16年3月15日	第2回各期常任委員会代表者会議	北陵館
4.	16年5月25日	第3回各期常任委員会代表者会議	北陵館
5.	16年6月7日	16年度常任委員会	北陵館
6.	16年7月3日	16年度同窓会総会	仙台ホテル

県立高校一律共学化に関する要望書について(回答)

平成16年8月23日

宮城県知事 浅野史郎

宮城県教育委員会

教育長 白石晃

本県の教育施策の推進につきましては、日ごろ格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、御多忙の中、本県の県立高校の男女共学化に関する貴重な御意見等をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、平成16年7月20日付けで提出のありましたこのことについては、別紙のとおりですので、御理解願います。

はじめに、日ごろから、貴同窓会には、仙台第二高校に対する御支援と御援助を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

また、この度持参いただきました「県立高校一律共学化に関する要望書」をまとめるに当たって作成されました「宮城県仙台第二高等学校 共学化問題に関する調査 中間報告」及び「宮城県第二高等学校共学化問題に関する参考事例」等における調査についての貴会の御労苦に対しまして、心から敬意を表するものです。

特に、米国、英国、オーストラリア等の諸外国の共学化をめぐる調査等は、貴会の情報収集能力の高さを示すものと考えております。

今回の要望に対する回答については、以下御説明いたします。

まず、本県の県立高校の男女共学化の推進理由についてありますが、本県では、県立高校が県民の方々の負担で設置・運営される公の教育機関であること、また、学習指導要領の改正に伴い、平成6年度入学生から「家庭科」が男女必履修となるなど、学習指導要領上での男女の差異がなくなったこと、さらには進路選択面でも男女の差がなくなっていることから、性差だけで高校の受験勉強を制限する合理性がないことを主たる理由として、平成13年3月に策定した「県立高校将来構想」において、すべての県立高校の共学化を決定しているところです。

また、県立高校の共学化を決定した経緯ですが、一般県民の方々を対象としたアンケート調査、県内各地での説明会の開催、さらには、有識者会議等を踏まえるなど、県民各界各層のコンセンサスを得ながら、適切な手続を経て政策決定したものであります。

以下、要望書に沿って具体的に回答を申し述べさせていただきます。

1 仙台第二高校の平成18年度共学実施の凍結に関する要望について

県教育委員会では、平成13年3月に「県立高校将来構想」を策定・公表した後、別学校に対し、校内に検討組織を設置の上、共学化後の学校の在り方を検討するよう指示しております。

また、各学校の共学化開始年度は、校内での検討や予算についてめどが立ったところから、順次公表しているところであります。

仙台第二高校の校内での検討については、「県立高校将来構想」策定以前の平成10年に、「21世紀ビジョン作成委員会」を設置し、「より良き二高の創造」を目指した検討が始められておりましたが、平成13年3月の「県立高校将来構想」発表後においては共学化も盛り込み、平成15年3月に「宮城県仙台第二高等学校中期総合ビジョン」として、学校の将来像がまとめられております。さらには、これらを受けて、校舎等の施設面についても、共学化を見据えた検討がなされております。

県教育委員会といたしましても、これら仙台第二高校での検討を踏まえ、財政面でのめどをつけた上で、中学生への周知期間を考慮し、平成18年4月からの共学化を発表したものです。

加えて、仙台第二高校では平成18年度の共学化に向け、現在女子生徒を受け入れる具体的な教育内容等の検討を行うとともに、県教育委員会においては、通学地域内の中学生に対して、平成18年度仙台第二高校の共学化開始ということを、既に周知している状況にあります。

以上のことから、平成18年度の共学化開始を凍結することは困難であると考えております。今後とも、県教育委員会といたしましては、平成18年度共学化開始について、貴同窓会各位の御理解が得られますよう、努めてまいります。

また、本県では、いまだ共学化開始年度を発表していない別学の県立高校がありますが、対象校ごとに共学化に向けた検討の促進を図り、共学化開始年度の早期発表に努めることとしております。

なお、本県の共学化は、前述の理由等によって進めているものであり、「諸外国の動向」、「別学の優位性」「時代の流れ」や「他県の共学化」などで決定されたものではなく、本県独自の政策として進めているもので

あることを申し添えます。

2 地域性を生かした納得性のある施策の要望について

本県の共学化は、県民の負担によって設置運営されている県立高校において、性差のみによって入学機会を制限する合理性はないとの判断により、平成22年度までにすべての県立高校を共学化する方針を政策決定しているものです。したがって、地方や都市部の区別なく共学化を行うものであり、各学校においては、共学化を契機としてさらによりよい学校づくりを進めることとしているものです。

現在までの共学化を契機とした各学校での取組の状況についてありますが、まず、角田、築館、気仙沼及び白石の再編4地区においては、少子化による生徒数の減少対策として再編統合を行なうものです。次に、第三女子高校及び仙台第三高校については、老朽化した校舎の改築を図るものであり、また、矢本高校についても、石巻高校及び石巻女子高校の定時制課程と統合し、昼夜間開講型単位制に再編するものです。さらに、古川女子高校については、中高一貫教育校への移行を行なうものです。

また、仙台第二高校をはじめとする、古川高校、石巻高校、石巻女子高校及び石巻商業高校の5校については、現在のままでも、学校としての活力を維持することができるとの判断から、単独での共学化を行うこととしたものです。

このように、本県における県立高校の共学化については、それぞれの地域の実情に合った学校の在り方の検討を踏まえたものであり、仙台第二高校だけを、将来にわたって男子生徒のみを入学対象とする学校として存続させ得る特段の理由はないものと考えております。

最後に、仙台第二高校は、創立100年を越える本県屈指の伝統校であり、仙台第二高校で青春時代を過ごされた方々にとって、母校は在学時代のままであって欲しいという「願い」があることは十分承知しております。

しかしながら、生まれながらの性差による入学制限には合理性がなく、学習指導要領上でも男女の差がなくなっていることなどから、本県の県立高校においては、性差による入学制限の撤廃をすることとしたものです。

仙台第二高校については、共学化を契機として、さらに魅力ある仙台第二高校を創造していくことが、県教育委員会にとっての使命であり責任であると考えておりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

『県立高校将来構想』見直し等に関する

請　願　書

平成16年10月1日

紹介議員

相沢光哉	藤倉知格	高橋長偉	千葉達
仁田和廣	今野隆吉	菅間進	百足健一
菊地健次郎	池田憲彦	柏佑整	寺島英毅

1. 請願の要旨

関係者の充分な理解が得られないままに進められている『県立高校将来構想』の見直しを請願いたします。

特に、仙台第二高等学校の平成18年度共学化を当分の間凍結し、地域の特性を生かした今後の県立高校の在り方について充分な議論を尽くし、関係者の理解と協力を得ながら進めることを請願いたします。

2. 請願の理由

教育は国家百年の大計であり、何よりも先ず将来を担う有能有為な人材をどう育成するかという教育理念を基本に据えながら施策の展開が図られるべきであります。さらに、宮城県の教育の中で考慮されなければ

ならないのは、非行等の問題行動、学力低下の問題、学区制の在り方等の問題であり、共学化の問題もこれらを総合的に検討する中で進められるべきものと考えます。しかし、県が公表した『県立高校将来構想』は、公表段階から多くの県民より問題点が指摘されており、県民全体の充分な理解が得られている状況にはありません。

したがって、この『県立高校将来構想』の見直しを含め、在校生、保護者、教職員、同窓会など学校関係者と充分な論議を重ねて対応することを強く望むものであります。

- 1) 仙台一高同窓会は、平成15年4月に共学化問題においては関係者の理解を得た上で進めるべきとの意見書を、16年7月仙台二高同窓会は仙台二高の共学化の一時凍結を求める要望書を提出し、また14年11月仙台一高や15年3月宮城三女高でも生徒総会において共学化反対決議が行われるなど、関係者の理解が得られてはいません。
- 2) 請願者は県が男女別学を廃止し、例外なく共学化を急に進めようとする姿勢に疑問を感じております。国外においても別学校の存在意義は再認識され始めており、また国内においても別学校経験者を中心にしてその良さは広く認識されております。
- 3) 保護者からも県に対して意見書が出され、また関係各校においての保護者に対する調査においても、敢えて共学化にすることに対する反対が多数であり、一律に共学化するのではなく、むしろ共学校と別学校の選択肢を残すべきものと考えます。
- 4) 県の共学化実施の主たる理由は「税金により運営される公立高校への性差による入学制限には合理性がない」とする極めて短絡的なものであります。しかし近年別学の教育効果が科学的に研究されており、別学の優位性を示す報告が次々と為されており、慎重な判断が求められるところであります。
- 5) 請願者は共学を否定しているものではなく、別学、共学の議論だけではなく、国内、国外に視野を広げ、これからの中城らしい教育とは何かという視点から、本県の公立高校の在り方を充分に協議する時間と場が必要不可欠と考えます。

本文の趣旨をご理解いただき、要旨をお取り上げ頂くよう請願いたします。

請願者	団体名	宮城県仙台第一高等学校 同窓会
	代表者	会長 手島典男
請願者	団体名	宮城県仙台第二高等学校 同窓会
	代表者	会長 西澤潤一
請願者	団体名	宮城県の別学を守る仙台二高親の会
	代表者	会長 伊澤平太
請願者	団体名	宮城県第一女子高等学校 同窓会有志
	代表者	代表 原田美由紀
請願者	団体名	宮城県第二女子高等学校 同窓会有志
	代表者	代表 守屋公世子
請願者	団体名	宮城県第三女子高等学校 同窓会
	代表者	会長 小關友子
請願者	団体名	県立高校の在り方を考える会
	代表者	代表 伊達廣三
請願者	団体名	宮城県仙台第一高等学校平成15年度父母教師会
	代表者	有志代表 森山博
請願者	団体名	宮城県第三女子高等学校父母教師会
	代表者	有志代表 一条博

をもって同窓会を解散すべきである。しかるに「青葉高校」か「広瀬高校」か知らぬが新しい理念の新校を創設するのがすじであろう。

云いたいことは同窓会はそ

の存立をかけて闘うべきである」ということ。

乱筆にて 以上

追伸 一高は男子校としてそのまま残る計画になつてい

るのですか――。

「県立高の一律共学化」に

第一回在京同期堂大会代表幹事 伊藤 繁(高6回)

教育環境には広い裾野がある。地方の県立高校には地方的な地域社会と家庭の連帯があり、「世間体(ティ)」という伝統的・気風的な「羨」として守られてきた。地方的な氣風に安穏と「共学」問題―論壇の一部に「一を語る、県関係者の安泰と一蓮托生も。

知事の「共学公表」に「平等に差別なく」とあり、昔の教育勅語の天下り・上意下達の「授与された平等」であり、扇動政治のプロパガンダ宣伝、主義、思想を大衆に広める一となり、現施政者として職権乱用、專制政治の走りとなる。「良い伝統はのこりま

る」とあるが、「良し悪し」がつくのは習慣であり、本来の伝統解釈と違う。「伝統に郷愁も」と情緒用語には「廃

る中学生」である。人権の「養護期間」にある子供(中学生)たちが競争し、日夜頑張り「伝統、校風、人材輩出、進学率」等を選定し、継続されてきた目標の高校進学である。義務教育(共学)の延長状態の新制高校(共学)では先輩たちとの違和感の「差別」が残され、自立心を消失させる。「平等、差別」の天下りで高校進学を断念する家庭には羨望的な差別が残される。

まあねく教育の機会均等も反古にされる。県民の多数決の問題ではない。「第三者の有識者による諮問機関を設け、各種団体の意見を取上げ、公開しながら結論する」が本来

である。県議会は「共学」に賛否する立場にないが、県民の血税で貽われた公共教育施設が、一貫性のない、雑然とした順番待ちの積み木細工のようなことで、子供(中学)

たちの未来どうなるのか、民主的な機能原則が守れたか、

施政者の専制はどうなるのか、民

生徒が共に切磋琢磨して、良き伝統が育まれました。

全国に兄弟高は沢山ありますが、互いに切磋琢磨しているのは仙台一・二高だけです。

仙台一・二高が絶妙なバランスで競争し、教師が燃え、生徒がその情熱に応えて、良き伝統が築かれました。

私自身も先生方から発破をかけられ、又東北大医学部に現役で合格した藤井君と数学の問題集で競争して勉強しました。

母校の共学化に疑問

三条 雅英(高11回)

前略

仙台二高11回生の同級会誌ピンピン会第4号が先月送られてきました。

まだ半分程しか読んでいませんが、どの文も年輪の重み、充実した人生を感じられます。

仙台二高の同級生が各地で指

導的立場を發揮しており、仙

台二高同窓生の誇りを改めて感じました。

それにつけても、後輩の宮城県の浅野知事が仙台二高を共学にしようとしていることに疑問を感じます。

仙台二高は一高と文武両道

者立場が問われる。「授与された平等」の新制高校(共

学)には男子校の伝統が女子

には傍観者となり反動の「校

内差別」と低調となり、消滅する。

「ロングライフの見地」から男女が夫婦として家庭で過ごすのは三分の二以上である。

その前期は義務教育(中学)から選択された高校生活は三年である。「共学」の「男女の馴れ合い」が浅学となり大学に持ち込まれ、享楽的な、自立心に欠けたまま社会人になり、社会的欠落者が「フリー

は恋愛を学ぶ場ではない。

タ一となり、女子は「家庭崩壊」と異郷を彷徨う。

友人とのライバル意識のお陰で、目的の大学に入れて、今自分があると思います。

高校三年間別学にしても、男女共同参画の今の世でも、全く不都合はありません。県の幹部は共学にする理由は、男女の区別なく学校を選べるようにするためだと発表しています。

県民平等にするなら、共学の前に、学区制を廃止して気仙沼市の住民も入れるようにすべきです。

二高を共学にしたら、一高との絶妙なバランスも崩れ、平凡な高校になってしまふ危険性があります。

優秀な伝統を誇っていた都立高校が、競争は良くないと立派な高校になってしまふ危険性があります。

二高が共学になつたら、私の母校意識も薄らぎ、母校への応援も薄らぐことでしょう。

二高が共学になつたら、優秀な女性も入ることで、一時的に成績が上がるでしょうが、一高との競争の意識が薄らぎ、切磋琢磨が消失する危険性も考慮するべきです。

伝統には変えるべきものと守るべきものがあります。

仙台二高の男女別学・共学についての私見

—男女別学は宮城県の誇るべき文化である—

長尾 貞紀（高11回）

しばらく前にある同期生から仙台二高の共学化の事についてどう思うかと聞かれた。なぜ今共学とするのか。これまで別学に何の違和感ももつていなかつたし、また共学にする労力と費用を考えると学

力向上などもとに行うべきことはたくさんあるのではないと不思議に思つた。平成十六年三月十二日在京ピンピング会（高11回卒）に参加し、このとき二高同窓会副会長の笹氣氏からこの問題についての報告があった。この機会に小生もここに意見を述べてみたい。

男女別学・共学は十五歳から十八歳の男子と女子が机をならべ、席を同じくするかしないかと言うことである。したがつてこれはこの年代の学問的教育のみならず男女としての教育の問題でもある。まず、男性と女性の違いは、有史以前の大昔から当然のことながら姿かたちが違い、女性は児をみ育て、男性は狩猟やあるいは利害の対立する

している。これは日本語に男の言葉、女言葉があることからもうかがわれる。『男女七歳にして席を同じくせず』といふことも言われた。しかし第二次大戦後米国の教育方針が導入され共学化がすすんで現在に至つた。文明の利器の発達により現代では女性のものとされた家事は家電などでも行えるようになり多

くの女性の社会進出を可能にしている。男性も家事の一端を担いこれを容易にしている。社会情勢も家庭の形態も変化し、社会全体として男女の区別は行動面、そして精神的にもその差は縮まって、均一化の傾向にあり、時代の流れとも言えるだろう。しかしここで忘れてならないのは我が國の文化的背景であり、さらに別学・共学の問題か

らすると機会均等を是とする学問的教育だけではなく、我が國固有の精神的あるいは道徳的教育である。別学・共学の問題か

と、「暁かけて匂うなる桜の花に武士がひそかに秘めしきこそ我が若人の精神ななかつたが、声高にいわれた『文武両道』に強くひかれた。敵とも戦つていた。時代が下がって女性は家に入り奥方ともよばれる言葉ができた。男性は家の外の社会において活動するかたちができた。我が国ではひとつの考え方として江戸時代の女子教訓書である『女大学』などが出版された。またこれは男子にかぎるものではないが仁・義・礼・智・信をおもんずる我が国独特的の『武士道』が生まれた。この武士道は土のみならず農・工・商にも波及した。明治維新後日本が植民地化されることはなかったのはその後のすばらしい教育制度によるところが大きい。がしかしこの教育制度も一朝一夕になるものではない。がしかしこの教育制度など幅広い道徳やそうした子弟の教育を基盤としていることは否めない。第二次大戦後の荒廃からの急速な我が国復興もまたそれまで培われていた教育、道徳に負うところである。このような観点からみるとこれまでの教育は男わばわれ勝たん』など、今までなかなか接しませんといつては美しい文語調の歌詞である。



いささか勇ましく、こうした精神的なもの、校風は女子には似合わない。しかしこうした心があつてこそ、その対局に男性としての思いやり、優しさ、情愛の心が育つてくるのではないだろうか。小学生には入学以来この凱歌が薰陶という形で残っているような気がしている。一方女子校にも同じように長く培われた女子の精神を謳う校歌をはじめとする歌があると思うし、またこれらから『薰陶』をうけた卒業生も決して少なくないと思う。ここにとりあげた凱歌のことは伝統あるいは校風のはんの一面にすぎないであろう。しかし共学に変えることはこれをはじめとするほどの多くの、長く培ってきた有形無形の、とりわけ形には現れにくく言葉でも表しにくい各高校の伝統、校風、即ち我が国のですばらしい別学の文化をある。西洋、東洋、アラブのだいなしにしてしまうことであります。日本にも当然固有の文化があり、これらを均一化するグローバリゼイションはかならずしも良いことではないことと軌を一にする。

幸いなことにわが宮城県は共学と別学の公立高校をいまなお存続し、またそれぞれにすばらしい伝統、校風をもつてゐると思う。別学の高校を共学にして新たに共学の校風をつくる必要はない。男女別学だけになってしまふことは明らかで、これは大局的にみて教育の機会均等という点から逸脱するものであろう。公立高校でもその教育理念を遂行すべきである。小生は共学の雰囲気を知らないが、もし本年の芥川賞受賞作『蹴りたい背中』(綿矢りさ・芸文春秋、三月特別号、二〇〇四年、三七四頁)のような傾向であれば、これから日本を背負う青年たちには『文武両道』『質実剛健』の方がずっと期待できると思う。別学の文化はあってよい。良いところを

母校の男女共学化が公表され直ぐに、八回生会長の山形淳君、奥山隆生君、六回生清野英一氏と一緒に校長に就任の経緯です。西澤会長の教育に対する情熱を支え、同窓会の総意を求めて、県との平和的決着を目指すのが私の課題と思っていました。

同窓会の行動隊として活動し、研究会の発足、代表者会議の開催、総会にて副会長に選出されたのが就任の経緯です。

西澤会長の教育に対する情熱を支え、同窓会の総意を求めて、県との平和的決着を目指すのが私の課題と思っていました。

例年一月第四土曜日を恒例として岩手北陵会を開催しており、今年も本部から三浦勇事務室長、石井康宏校内幹事(高31回)両氏をお迎えして

一月二十四日例会が行われました。

例年一月第四土曜日を恒例として岩手北陵会を開催しており、今年も本部から三浦勇事務室長、石井康宏校内幹事(高31回)両氏をお迎えして

一月二十四日例会が行われました。

例年一月第四土曜日を恒例として岩手北陵会を開催しており、今年も本部から三浦勇事務室長、石井康宏校内幹事(高31回)両氏をお迎えして

一月二十四日例会が行われました。

例年一月第四土曜日を恒例として岩手北陵会を開催しており、今年も本部から三浦勇事務室長、石井康宏校内幹事(高31回)両氏をお迎えして

新副会長紹介

介

支部会開催報告

岩手北陵会便り

副会長 佐伯康全(やすまさ)
(高8回)



副会長 鈴木恒男
(高5回)



副会長 志賀従興(よりふさ)
(高13回)

創立以来百余年の歴史ある仙台第二高等学校同窓会の副会長をとの話があり、諸事山から副会長をとのことで、十三回卒業で作っている三六会の世話役をやっている私に白羽の矢が当たったようでした。息子二人もお世話になったことだし、恩返しのつもりでございません。

同窓会運営に努力しますので、さて会は例年通りの式次第で行われました。本年度は計

積の折から私ごとき浅学非才で若輩者がとても勤まるものではないと辞退いたしましたが、十二回(十三回期)の若手をございました。

さて会は例年通りの式次第で行われました。本年度は計



高橋収殿（高1回）、
杉谷利昭殿（高2回）、
及川忠昭殿（高6回）
がご逝去されており
ます。一同慎んで默
祷を捧げご冥福をお
祈り申し上げました。

当日はご多忙中の
ところおいでいただき
ました。三浦、石井両先
生から母校及び同窓
会の現状について、
お話を伺いました。

（平成十五年十一月三十一日
出席者は氏家和国会長（中
44回）以下十五名でした。

晶氏（高7回、京都市在住）
昨年八月に逝去された半沢好
た堀田康哉前同窓会会长のご
冥福をお祈りし、全員で黙祷

について話し合いましたが、
共学の件は結論はでませんで
した。

岩手北陵会は本例会の他、
仙台一高との合同懇親会を開
催していますが、昨年九月の
会に、このことについて話し
合いました。

一高さん側は共学はまだ性
急に過ぎるとの意見が多い
ようであったと記憶していま
す。

総会では、校歌斉唱の後、
昨年八月に逝去された半沢好
晶氏（高7回、京都市在住）
並びに今年一月にご逝去され

岩手北陵会員県内居住分布



現在の会員数百四名内、中三
十一名、高七十三名）以上、
岩手北陵会便りとします。

関西北陵会総会

小松 寛明（高33回）

平成十六年二月二十八日、
大阪市内にて関西北陵会総会

並びに懇親会が開催されま
した。卒業式直前で非常にお忙
しいにもかかわらず、仙台か
ら佐藤隆信校長先生、石井敏
夫同窓会副会長に来賓として
ご出席いただきました。

ところで、関西北陵会の設
立に尽力され、会長を務めて
いた大河内木川田一郎氏

（中42回）が、昨年秋に茨城
県在住のご子息夫妻のもとに
転居されることになりました。

大変残念なことで、総会開催
まで当惑することも度々でし
たが、関係者各位のご協力を
得、今回も無事総会を終える
ことができました。

総会では、校歌斉唱の後、
昨年八月に逝去された半沢好
晶氏（高7回、京都市在住）
並びに今年一月にご逝去され



を挙げました。来賓のご挨拶の後、役員の選任が行なわれ、会長代行の船木保氏（高4回）が新会長に選ばれました。なお、このほかの役員人事案も提案され、了承されました。

副会長に麻喜亮雄氏（高9回）、会計に菊池輝氏（高41回）、

監査に渡辺敏雄氏（高20回）、総務に柴崎慎吾氏（高21回）、同じく小松寛明（高33回）とお、このほかの役員人事案も恒例の講演会では、「現代はいつ始まつたか」という演題で、甲南女子大学教授の井上俊氏（高9回）にお話をいた

はいっただきながらなごいう顔ぶれです。恒例の講演会では、「現代はいつ始まつたか」という演題で、甲南女子大学教授の井上俊氏（高9回）にお話をいた

はいっただきながらなごいう顔ぶれです。恒例の講演会では、「現代はいつ始まつたか」という演題で、甲南女子大学教授の井上俊氏（高9回）にお話をいた

はいっただきながらなごいう顔ぶれです。恒例の講演会では、「現代はいつ始まつたか」という演題で、甲南女子大学教授の井上俊氏（高9回）にお話をいた

はいっただきながらなごいう顔ぶれです。恒例の講演会では、「現代はいつ始まつたか」という演題で、甲南女子大学教授の井上俊氏（高9回）にお話をいた

同期会報告

首都圏北陵四期会 開催活発

会長 出村 博、平成十六年度幹事

飯野 渡邊（三）、伊藤（恒）

古稀を迎えた益々意氣盛ん！

和気あいあいと年一回、活発に継続され、出席者も毎回多数参加しています。平成十六

年度総会は、六月十日（木）日本橋にて、特別講演「遺産

相続の基礎知識」（遺言状の書き方）抜山弁護士（同期生）にてスタート、物故者への黙祷、そして歓談、仙台、中部、関西の同期生の会合の報告、勧誘がなされた。

とくに、男女共学の問題についての現況報告（我妻君、仙台）、藏王の悲劇の結ぶ縁（千葉英之君）、さらに長期療養中の同期生六名への励ましの色紙署名が行われ、仙台より差し入れの美酒「勝山」「雪の松島」により、席は一気に盛り上がり、出席者四十



平成16年（2004）6月10日 於みずほインベスタート証券社員クラブ

終了した。新たに「豆ニュース」第一号、第二号も発刊さ

れ好評。次回は、新年会、平

成十七年一月二十七日の予定。

秋の叙勲受賞者

|| 叙勲、受賞 ||

（旭日中綬章）

関寅雄（中45回）

（瑞宝小綬章）

立木蔚（中44回）

（藍綬褒章）

渡辺慈朗（中44回）

（瑞宝小綬章）

武田泉（中44回）

（藍綬褒章）

岡征男（高13回）





八七歳・感涙の慰靈登頂

一高同窓会がサポート

高4回卒 千葉 英之

会員短信

「やつたあー」「ここが頂上です」「がんばりましたね」——お供の山男たちから、拍手と歓声がわく。

十月十六日の午後零時三十分。「藏王の悲劇が結ぶ縁。仙台一高と柏崎高」(前号掲載、拙稿)の主人公、渡辺宏さん(八七歳、神奈川県厚木市在住)は、藏王の主峰・熊野岳(一、八四一メートル)に悲願の登頂を果たした。

周囲のどよめきの中で、宏さんは、こみあげる涙を押さえきれず、絶句。しばらくして「ほんとうに有り難うございました。皆さんのお力がなければ登れませんでした」。

——そして、大正七年、猛吹雪で遭難死した、旧制仙台

二中の生徒、教諭九人の供養碑に合掌した。焼香の煙が、二高校歌の齊唱に揺れる。

「亡き父に代わって改めてお詫びを申し上げました」と言う宏さんは、遭難当時の第三代一中校長、渡辺文敏先生の三男である。文敏校長は引責辞職し、生涯、教職に戻ることなく、極貧の中で、ひたすら犠牲者の鎮魂と慰靈につとめる日々だったという。

宏さんは父の遺志を引き継ぎ、二中、二高側に知られるところなく、これまで四回も藏王参りをしていた。今春、五回目を計画していることを、柏崎高(文敏校長の前任校)の同窓会情報として、拙稿が伝えたところ、二高同窓会に挙げて支援する気運が盛り上がり、この日を迎えた。

まず、宏さんは賽の河原の藏王寺で催した慰靈祭に、夫人の俊子さんを伴い参列し、鎮魂の祈りを捧げた。すぐ、車で刈田岳へ。そこから、お金を右に見ながら馬の背伝いに、標高差八〇メートル、三キロの凸凹坂を、熊野岳めざして登った。やや曇りがち、風は弱く、稜線が、くつきり見える。天の恵みだろう。

月田文和さん(高4)が指揮する山岳部OB四人のサポートチームに、前後左右を守られながら、宏さんは杖一本で歩一步、踏みしめる。高齢、病み上がりとは思えぬ、しっかりした足取り。その後に、大友一郎さん(高6、同窓会常任委員)ら、同行六人のパートナーが続く。拙稿の情報源となつた松浦孝義さん(柏崎高・東京同窓会事務局長、高7)の姿もあった。

同行者は一様に、宏さんの自力による登山下山に、まさかと驚き、感動を新たにした。作家の曾野綾子さんが、自らガイド役となり毎年「聖地巡礼」を続けている、と聞いた。健常者が高齢者や身障者の面倒をみながら、欧州、中国の、キリスト教ゆかりの地を訪ねる旅だ。旅すがら、支える人と支えられる人との間に、自然に感謝と喜びの気持ちが芽生えてくるという。

今回の藏王参りには、そのような雰囲気が漂っていた。前日の十五日、宏さん夫妻は仙台二高を訪れ、前庭の鎮碑に献花した。そして学校と同窓会、心づくしの「宏さんを閉む会」に出席した。

さんきゅう会

東京支部懇親会開催

中39回卒 丸谷 孝郎

高20回卒 木下 彰

「ウルフ」の一言



神谷 矢嶋 丸谷 黒沢 笠松 堀田 山田 熊谷 芳博
弘一郎 孝一郎 信幸 敏満 (旧姓坂本)

以上九名

さんきゅう会（仙台二中39回卒）
東京支部懇親会
平成十六年十月十三日

日比谷糖業会館

謹みて申し上げます。
秋冷の候を迎えました。
母校ますます御隆盛の趣
心からお慶び申し上げます。
さてさんきゅう会（仙台二
中39回卒）東京支部懇親会を
平成十六年十月十三日（水）
正午日比谷糖業会館にて開催

致しました。
在京（近郊を含む）十四名
に案内状差上げましたが結局
出席者は九名でした。
山川民夫（東京大学名誉教
授）は学会出席のため欠席を
初め、佐藤章・萩原卓・桜井
篤・佐藤卓三・藤田貞夫の六

名は都合が悪く欠席でした。
写真撮影しましたので例年
に準據しあり送り致します。
御笑納ください。
尚、黒沢信幸君は大阪枚方
市より特別参加されました。
先づは一筆走らせてました。

一日大学

去年に引き続き、今年も本校一年生対象に、東北大学の先生方のご協力のもと、「一日大学」が実施された。講師の先生方は、別表のとおり。本校同窓会の先生方もご協力いただいた。

◆1学年「一日大学」1回目 10/28

所属学部	講師名	講義タイトル
1 文学部	海野 道郎教授	環境配慮行動はなぜ困難か 環境問題と社会的ジレンマ
2 教育学部	谷口和也助教授	教育学研究と新しい「知」の領域
3 法学部	大内 孝教授	法学部における実学と「虚学」
4 理学部	小園 英雄教授	数学と物理学
5 歯学部	高橋 信博教授	口から健康を考える
6 工学部	澤谷 邦男教授 (高19回)	携帯電話システムとこれを支える技術

◆1学年「一日大学」2回目 11/25

所属学部	講師名	講義タイトル
1 文学部	佐藤 嘉倫教授	公平な分配はどう社会にひろがるのか? コンピュータ・シミュレーションへの招待
2 経済学部	藤本雅彦助教授	知識社会における会社の未来
3 理学部	酒井 聰樹教授	生物の進化 種にとって有利な性質が進化するのか?
4 医学部	本郷 道夫教授 (高19回)	消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍）
5 薬学部	榎本 武美教授	薬と遺伝子
6 工学部	青木 孝文教授 (高36回)	ひとに近づく未来のコンピューター
7 農学部	齋藤 忠夫教授	プロバイオティック乳酸菌を利用した高機能性ヨーグルト

休日に柔道場の鍵の貸し出しをするべく当直の「ウルフ」（化学の先生でした）の机の横に出向き、台帳に「日時、氏名」を記載するべく、何気なく「ペンをお貸し下さい。」と申し出した処、「ウルフ」の鋭い眼光を浴び、「一言。「学生だろう。いつもペンを持たず、勉強はどうする?」三年の春休みのことでした。（その1）

（その2）

ペンを返却し、早々に退出してから三十年以上経過しましたが、今も「勉強しているか? 覚悟はどうか?」静かに「ウルフ」の言葉が胸に響きます。「勉強しろ。」などと言わず、白衣を着て自ら勉強中の白髪の「ウルフ」の静かな一言は、朝の職場に出来る小生の背中を今も支えてくれます。

「図鑑」

「図鑑」

高25回卒 上野 幸隆

今年も若葉が眩しいよい季節を迎えております。

卒業以来同窓会にはご無沙汰ばかりで、現役時代そのままの不真面目さは年齢を重ねても一向に直っておりません。

また、同窓生として何のはたらきもせず、若い現役高校生の方々の役にも立っておりません。

こんな不良同窓生ですが、本日は思い立つて三冊ばかり図鑑をお送りいたします。図書室閲覧に供していただければと思います。

小生は、本好きが高じて編集者の方を歩み、また教育への関心によって子どもから大人に至る教育図書の編集を専らの仕事にして二十余年を経ております。教育図書とはいわゆる学習参考書の類いや事典、図鑑、大人向けの教育講座から企業内教育の図書な

どさまざまです。これらの教育に関する書籍などを企画して出版社に持ち込んだり委託を受けたりして編集制作をする、いわゆる編集プロダクションを運営しております。

最近は、小生自身の趣味の延長上で、鉄道や乗り物に関する本をいくつか企画制作してきています。もともと、編集の世界に入つて間もないころから、子ども向けの乗り物の図鑑を編集する機会を持ち、以来この領域を得意として各社から出される図鑑を作つてきました経緯があります。

小生は、企画し、編集を率い、一部の原稿を書いたものです。学校の勉強にはほとんど役に立たないものばかりではありますが、昨今話題の多い総合学習などでは、

高校生ならば各人の興味関心に応じて、自ら調べたり体验したりすることが求められており、そうした点では何らかの資料ともなりうるかと思ひます。

※図鑑は図書館で閲覧できます。

データによるものばかりです。すべての駅を写真と解説で構成したこの本は、初めてのもので、また同じシリーズの「国鉄・JR特急のすべて」は、明治四十五年に日本で最初に走り始めた特急を、出現順にすべて取り上げた本です。

特急列車の歴史と変遷がわかるというものです。

いささか我田引水的な論法ではありますが、こんな風に考えております。この先も、さまざまな教育関連の本を作ります。

一方で、未来を担う若い諸子によるものばかりです。度成長の歩みは、新幹線と高速自動車道の開通と拡充といいます。鉄道を始めとする交通の発達速され今日に至っています。

鐵道を始めとする交通の発達を知ることは、文化と産業や経済の歩みをより具体的に知ることになります。

いざか我田引水的な論法ではありますが、こんな風に考えております。この先も、さまざまな教育関連の本を作ります。

一方で、未来を担う若い諸子にしてそこから問題意識を達させ、職業選択なり生業革命とは、鉄道の発明と発達そのものと言えますし、我が国の文明開化や近代化も鉄道の発達と切り離すことはできません。戦後の復興から高まっています。

一方で、未来を担う若い諸子にしてそこから問題意識を達させ、職業選択なり生業革命とは、鉄道の発明と発達そのものと言えますし、我が国の文明開化や近代化も鉄道の発達と切り離すことはできません。戦後の復興から高まっています。

一方で、未来を担う若い諸子にしてそこから問題意識を達させ、職業選択なり生業革命とは、鉄道の発明と発達そのものと言えますし、我が国の文明開化や近代化も鉄道の発達と切り離すことはできません。戦後の復興から高まっています。

会員短信の原稿募集

今回の会員短信にも多数の会員から原稿をお寄せ頂きました。これからも春秋二回の会報発行にごしだし原稿をお寄せいただくようお願いいたします。

春季会報の締切 四月末日

秋季会報の締切 十月末日

五〇〇字以内、写真掲載可

そもそも、文明の歴史の中

で、イギリスに端を発した産

仙台二高に寄せる思い

高26回卒 佐藤 健二
(旧姓・貝山)



中心的存在である点、そして

現に、同大・未来科学技術共同研究センターで、産学連携の遠大な計画が進行中であるということである。二高卒業生の進学先では東北大が一番多く、中でも工学部が断トツであることから、今後の同窓生の活躍に大いに期待したい。

最後に、私の近況について

ふれると、現勤務先の主要業務は、産学連携・研究プロジェクト支援等であり、今後とも、地域産業振興に向けて働く喜びを胸に、出向元の東北電力㈱、そして出向先の(財)みやぎ産業振興機構に感謝しつつ、微力を尽くしてまいりたいと、日々、決意を新たに取り組んでいる。

(一〇〇四年六月九日)

現役生徒の活躍

●テニス部●

「インターハイに出場して」

北島 和彦



振り返っ

てみると自

分の部活動

はとても有

意義なもの

であつたと

思う。様々

なことを学

べたし、結

果を残すこ

ともできた。

テニスを通

じて得たこ

とは高校生

活の大きな

財産となる

だろう。そ

れもこれも

周りで支え

てくれた。

たくさんの

方々のおか

げだ。本当

に感謝した

い。

自分は仲間に恵まれていた。共に高めあい、励ましあった。応援してくれた。本当にあ

りがたかった。部員のみんながいなかつたらインターハイになんて行けなかつただろう。

また、裏で支えて下さった先

生方にも感謝したい。わがま

まな自分達をとても温かく見

守ついてくれた。

全国大会に出たたびに、全

国の人々のレベルの高さに驚か

された。強い。全国での勝利

が目標でもあつたのだが、今

度も、努力することはやはり

嘘はつかないらしい。後輩た

ちには全国で優勝してやると

いうくらい大きな目標をもつ

て頑張ってもらいたい。頑張

れ。君達ならきっとできる。

引退してから改めて二高テニス部の良さに気が付いたのかもしれない。テニス部に入っ

部活動の成果

学芸部成績(平成16年11月まで)

部名	成績	部名	成績
写真部	<p>第3回夏季高等学校写真コンテスト (H16.7.18~19 於東北生活文化大学高等学校) 優秀賞 高野 泰志(2-3) " 野村 晋一(2-8)</p> <p>第11回宮城県高校写真展(H16.11.3~11.7 於宮城県美術館) 銀賞(1-7)佐々木 謙「街角」 (平成17年全国高総文祭派遣) 銅賞(2-8)野村 晋一「ラッシュアワー」 (平成17年全国高総文祭派遣)</p>	英語部	<p>第4回宮城スキット甲子園 予選通過 8/20 " 決勝出場 特別賞受賞 9/3 北陵祭でスキット2作品発表</p>
文芸部	<p>第1回宮城県高等学校文芸作品コンクール 文芸部誌部門 入選『フロントライン』37号』</p> <p>第11回宮城県高等学校総合文化祭文芸部門 第1分科会「リレー小説」主宰</p> <p>第6回高校生文芸道場北海道・東北ブロック大会 (福島大会)参加</p>	吹奏楽部	<p>アンサンブルコンテスト青葉支部予選 サキソフォン五重奏 金賞 木管五重奏 銀賞 金管四重奏 銀賞 打楽器三重奏 銀賞</p> <p>日本吹奏楽指導者協会東北支部主催 管打楽器ソロコンテスト南東北大会 アルトサックス 遠藤太一郎(3-7)銀賞 チューバ 村上 一也(3-6)銀賞 クラリネット 太齋 慧(2-2)銀賞 クラリネット 庭野 夏樹(3-3)銅賞 ソプラノサックス 岡部 慧志(2-2)銅賞</p>
物理部	平成16年度 ひらめキッズまつりにインストラクターとして参加(於 東北電力グリーンプラザ)		<p>宮城県吹奏楽連盟主催宮城県管打楽器ソロコンテスト予選 ホルン 畑中 広大(3-3)優秀賞</p> <p>第17回定期演奏会開催(7/3:宮城県民会館)</p>
化学部	<p>第57回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 「種々の基礎的な電池の作成と 電解質膜を利用した燃料電池作成の試み」 1年 佐藤 克典・榎本 翔太・今野晋太朗</p>		<p>全日本吹奏楽コンクール第47回宮城県大会 仙台青葉・泉地区予選 大編成の部 銀賞</p> <p>同 第47回宮城県大会 大編成の部 銀賞</p>
生物部	<p>第57回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「川の自然浄化の研究 1. 上流域と中流域のモデル実験」 2年7組 渡邊 慧介・2年1組 浅野 祥 優秀賞 「川の自然浄化の研究 2. 河口域干潟のモデル実験」 2年7組 大友 総・2年1組 浅野 祥 (共同研究者 1年2組 阿部 哲也・1年4組 大竹 祐亮・1年4組 横 潤弥)</p>	合唱部	<p>東北大男声合唱団OBの東京公演 「心に翼を」への有志参加</p> <p>宮城県高総体総合開会式合唱団へ参加 東北学院大「宗教音楽の夕べ」への有志参加 北陵祭 オープニングセレモニーでの発表 演奏した曲「聖者の行進」「I Love You」「宇宙戦艦ヤマト」「みちのく広瀬川」「歌よありがとう」</p>
地学部	<p>岩手県南部(水沢、東山、衣川)夏季巡査調査 (8月11~13日)</p> <p>第57回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「三滝付近の溶岩の変遷」牧 悠介 " 「竜の口層の化石から推定した 約500万年前の竜の口の海の環境」 南 智之・佐藤 文洋・加藤 大和 優秀賞 「ToUcam・Regista X を用いた惑星観測」 伊藤 卓弥・鎌田 純彰・厨川 知彦 " 「彗星・流星観測とその考察」 佐々木 沢・千葉 義之・竹内 悠祐</p>	囲碁部	<p>第28回全国高等学校囲碁選手権大会宮城県大会 (H16.6.28~29) 男子団体 3回戦敗退 (高橋 淳・権 宅炫・門脇 主将)</p> <p>第5回宮城県高等学校囲碁九路盤大会 男子個人A 9位(門脇 主将)</p>
		将棋部	<p>第40回全国高等学校将棋選手権県予選大会 団体戦 準優勝 畠山 寛希・宮腰 英洋・太田 広大 第21回宮城県高等学校将棋新人戦 A組決勝トーナメント 1回戦 遠山祐太郎・三浦 智宣 2回戦 太田 恭志</p>

部活動の成果 運動部成績

大会名 部名	平成15年度		平成16年度		大会名 部名	平成15年度		平成16年度		
	新人大会	定期戦	総合体育大会			新人大会	定期戦	総合体育大会		
硬式野球部	1回戦 仙台二3-1石巻 2回戦 仙台二1-3一迫商	負け	春季県大会 1回戦 仙台二8-7仙台育英 2回戦 仙台二6-5仙台東 準々決勝 仙台二5-7佐沼 選手権県大会 2回戦 仙台二8-7追桜 3回戦 仙台二12-2加美農業 4回戦 仙台二11-8仙台一 準々決勝 仙台二1-11東北 <ペスト8>		ソフトテニス部	小山・後藤2-4古川学園 2回戦 近藤・森谷4-2東北 3回戦 近藤・森谷0-4仙台育英	1位 2位 3位	個人戦 1回戦 高橋・安松4-0石巻商 2回戦 近藤・森谷2-4東北工大高 準々決勝 小山・後藤2-4東北工大高 3回戦 鶴木・三島2-4東北学芸 4回戦 高橋・安松2-4利府 準々決勝 佐藤谷1-4東北		
	軟式野球部	1回戦 仙台二0-3仙台	負け	団体戦 1回戦 仙台二10-0泉 2回戦 仙台二3-4仙台育英		団体1回戦 仙台二1-3佐沼高				
陸上競技部	3000MSC 黒田 洋介 10位 5000M 平 壽也 17位		2000MSC 黒田 洋介 16位 5000M 平 壽也 14位		ダブルス 1回戦 塚野(仙二)0-3鷲澤(白工) 準々決勝 塚野(仙二)0-3鷲澤(白工)	1位 2回戦 守谷(仙二)3-0山内(石巻) 準々決勝 守谷(仙二)3-2佐々木(笠置) 3回戦 守谷(仙二)3-0鷲澤(宮城) 4回戦 中村(仙二)0-3鷲澤(宮城) 準々決勝 中村(仙二)0-3鷲澤(宮城) 3回戦 星野(仙二)3-2鷲澤(伊豆) 4回戦 星野(仙二)3-2鷲澤(伊豆) 5回戦 星野(仙二)3-0鷲澤(宮城) 6回戦 星野(仙二)3-0鷲澤(宮城)	シングルス 1回戦 星野(仙二)3-2星野(石巻) 中村(仙二)3-1浅野(栄田) 横山(仙二)3-0河野(上沼) 守谷(仙二)3-2桑地(石工) 2回戦 埼野(仙二)3-0鷲澤(古江) 中村(仙二)3-2鷲澤(宮城) 横山(仙二)3-1鷲澤(宮城) 守谷(仙二)3-2鷲澤(宮城) 3回戦 星野(仙二)3-2鷲澤(伊豆) 横山(仙二)3-0鷲澤(宮城) 4回戦 星野(仙二)3-0鷲澤(多賀城)	シングルス 1回戦 星野(仙二)3-2星野(石巻) 中村(仙二)3-1浅野(栄田) 横山(仙二)3-0河野(上沼) 守谷(仙二)3-2桑地(石工) 2回戦 埼野(仙二)3-0鷲澤(古江) 中村(仙二)3-2鷲澤(宮城) 横山(仙二)3-1鷲澤(宮城) 守谷(仙二)3-2鷲澤(宮城) 3回戦 星野(仙二)3-0鷲澤(多賀城)	卓球部	団体戦 1回戦 佐藤(仙二)3-0米原(宮崎) 2回戦 宮谷(仙二)3-2香坂(伊豆) 3回戦 星野(仙二)3-0久保真(古川) 4回戦 宮谷(仙二)3-1鷲澤(宮城) 5回戦 宮谷(仙二)3-0鷲澤(東北) 6回戦 芳賀(仙二)3-0河野(多賀城)
水泳部	400mR (佐藤・千葉・荒川・佐々木) 4位 東北大会出場 800mR (佐藤・塚辺・千葉・佐々木) 7位	400mR (佐藤・横田・平澤・佐々木) 3位 東北大会出場	800mR (佐々木・豊川・横田・佐藤) 6位 東北大会出場	400mMR (横田・豊川・佐藤・佐々木・佐藤) 6位 東北大会出場	200m個人メドレー 半澤 勝 8位 東北大会出場	200m平泳ぎ 鷹倉 順己 7位 東北大会出場	100m自由形 佐藤 博基 8位 東北大会出場	100m自由形 佐藤 博基 8位 東北大会出場	個人戦 ダブルス Best132 渡邊 晋吾・刀 友基 鈴木 研智・若生 公志 横山 基史・小田原真也 シングルス Best32 鈴木 寧實	個人戦 ダブルス Best32 鈴木 寧實・若生 公志 シングルス Best16 鈴木 寧實
	50m 自由形 佐々木哲也 4位 東北大会出場 佐藤 博基 8位 100m 自由形 佐々木哲也 4位 東北大会出場 佐藤 博基 5位 総合成績 第8位 (総合得点34点)		200m自由形 豊川 勝 8位 東北大会出場	50m自由形 佐藤 博基 5位 東北大会出場	100m 平泳ぎ 鷹倉 順己 5位 東北大会出場	100m 平泳ぎ 鷹倉 順己 5位 東北大会出場	総合成績 第4位 (総合得点30点)	個人戦 団体 (5人50) Aチーム (木村・金子・前田・若木・塚地・谷間) Bチーム (鶴巣・安藤・上里・武山・小野・篠井) 個人戦 個人 1年 金子洋平 5位 東北大会 (金子 1月) 1チーム (3人50) (木村・金子・塚地・印田) 文化部賞状を含め、全個別賞状を含む	個人戦 团体 (5人50) Aチーム (金子・若木・鷹倉・安藤・塚地・印田) Bチーム (木村・塚地・前田・鷹倉・谷間) 個人戦 個人 2年 宮本 誠 (準優勝) 2年 安藤大祐 ()	
サッカー部	仙台地区予選 仙台二2-1工大 仙台二6-0仙台東 ※ブロック1位で県大会出場		※ブリンズリーグ参加のため 地区予選免除 県大会 仙台二1-3東北学院		団体予選 仙二0-3米谷工 仙二0-4志津川 予選敗退		団体戦 仙二1-2氣仙沼 仙二1-2宮工専 仙二0-3黒川 予選敗退	団体戦 仙二0-3氣仙沼 仙二1-2宮工専 仙二0-3黒川 予選敗退	団体戦 仙二0-3氣仙沼 仙二1-2宮工専 仙二0-3黒川 予選敗退	
	1回戦 仙台二4-0石巻 2回戦 仙台二5-0吉川工 準々決勝 仙台二3-1仙台三 準決勝 仙台二1-1学院館 PK 2-4 東北新人大会第三代表決定戦 仙台二0-3東北 PK 6-7 ※上記により第3位			個人戦 曾部勇太 予選敗退 66kg 武田隼一 ベスト8 73kg 木田武宏 予選敗退 90kg 鈴木孝典 ベスト16 100kg 大堀優輔 予選敗退	負け	柔道部	個人戦 曾部勇太 予選敗退 66kg 武田隼一 ベスト8 73kg 木田武宏 予選敗退 90kg 鈴木孝典 ベスト8 100kg 大堀優輔 予選敗退	個人戦 曾部勇太 ベスト16 66kg 武田隼一 ベスト8 73kg 延澤涼馬 予選敗退 90kg 鈴木孝典 ベスト8 100kg 大堀優輔 予選敗退	個人戦 曾部勇太 ベスト16 66kg 武田隼一 ベスト8 73kg 延澤涼馬 予選敗退 90kg 鈴木孝典 ベスト8 100kg 大堀優輔 予選敗退	
ラグビー部	1回戦 仙二12(7-17) 25名仙沼向洋 5-8		1回戦 仙二17(0-10) 25名仙沼 17-15		団体予選リーグ 仙二3-0東北 仙二4-0志津川 仙二4-0東北		団体予選リーグ 仙二3-0東北 仙二4-0志津川 仙二4-0東北	団体予選リーグ 仙二3-0東北 仙二4-0志津川 仙二4-0東北	団体予選リーグ 仙二3-0東北 仙二4-0志津川 仙二4-0東北	
ハンドボール部	1回戦 仙台24-13東北 2回戦 仙台26-27仙台商		1回戦 仙台23-11登米 2回戦 仙台26-15東北 準々決勝 仙台21-43富谷 県ベスト8		団体予選 仙二3-0東北 仙二3-0東北 仙二3-0東北 同 3回戦 (ベスト8) 個人トーナメント 1回戦 川田(仙二)×-○佐藤(伊具) 加藤(仙二)○-×堀場(仙工) 同 2回戦 加藤(仙二)○-×望月(学院) 同 3回戦 加藤(仙二)○-×佐藤(岩出山) 同 4回戦 (ベスト16) 加藤(仙二)×-○遠藤(栄館)		剣道部	個人トーナメント 1回戦 川田(仙二)×-○小野寺(利府) 今野(仙二)×-○萬場(仙東)	個人トーナメント 1回戦 川田(仙二)×-○小野寺(利府) 今野(仙二)×-○萬場(仙東)	個人トーナメント 1回戦 川田(仙二)×-○小野寺(利府) 今野(仙二)×-○萬場(仙東)
バスケットボール部	地区予選 (11/9, 11, 15) 仙台2-67姫姫 〃 95-68仙台三 〃 83-83宮城広瀬 〃 53-76仙台 仙庭地区7位で県大会出場 県新人大会 (1/17) 1回戦 仙台25-49気仙沼向洋 2回戦 〃 51-52古川 2回戦敗退	82-73 勝ち	地区予選 (5/9) 仙台216-48松島 〃 95-67姫姫	通算成績 28勝26敗	県高校總体 (6/5、6) 1回戦 仙台2-97-85石巻工業 2回戦 〃 92-57古川 3回戦 〃 73-68石巻 準々決勝 〃 68-90宮城広瀬 県ベスト8		団体予選 仙二5-4仙一 仙二2-5仙南	個人 仙二5-4仙一 仙二2-5仙南	個人 仙二5-4仙一 仙二5-3仙一 仙二5-4氣仙沼 仙二2-5仙台育英	
バレーボール部	2回戦 仙台2-0石巻西 3回戦 仙台2-1富谷 4回戦 仙台2-0-2石巻商業 (ベスト16)	勝ち 3-0	2回戦 仙台2-0-0宮城農業 3回戦 仙台2-0-2古川工業		団体 優勝 東北選抜大会出場 準優勝 全国大会出場		山岳部	7位	12位	
テニス部	団体 優勝 東北選抜大会出場 準優勝 全国大会出場		個人 シングルス 北島和彦 (準優勝)		団体 優勝 東北大会・インターハイ出場 個人 シングルス 北島和彦 (ベスト4)		スキーパーク	スラローム 11位 白井 茂月 18位 大沼 侑也 ジャイアントスラローム 20位 中村 思太 21位 白井 茂月 22位 佐々木賢二 24位 大友 博之 27位 大沼 侑也	第20回アルペンスキー競技大会 (月山大会・総体予備大会) スラローム 12位 鈴木 拓也 16位 大沼 侑也 17位 佐々木賢二 ジャイアントスラローム 19位 佐々木賢二 21位 鈴木 拓也 23位 大沼 侑也	
ソフトテニス部	団体戦 1回戦 近藤・森谷4-1石巻 2回戦 山田・三島0-4古川 高橋・菅原2-4岩出山	1位 2位 3位	団体戦 1回戦 仙台2-0-0仙台西 2回戦 仙台2-0-2仙台工大 3回戦 仙台2-1-東北工大高 準々決勝 仙台2-0-2東北高 ペスト8		団体 戰 部員1名のためオープン参加 (一高と)		ヨット部	9位 (沙川・高城)		

10	9	9	7	7	7	5	3	14	10	1	13	9	8	12	9	11	10	5	4	3	4	不	明	小野又三郎殿	中39回									
17	24	13	29	20	10	11	15		10	6	1	20	24	近藤	赤林	柳沼	武田勝四郎殿	大宮	儀殿	中30回														
手塚	小山義七郎殿	秋葉	関嶺岸	神谷	田中	安西	鈴木		正人殿	信悦殿	文磨殿	高4回	高8回	孝殿	中38回	昇殿	中31回	中36回	中30回	3/23	4年	3/23	4年	不	明	小野又三郎殿	中39回							
健二殿	則夫殿	實殿	致殿	秀男殿	節男殿	高4回	高4回		高4回	高4回	高4回	高4回	高4回	中33回	中33回	中33回	中33回	中33回	中33回	3/23	4年	3/23	4年	不	明	小野又三郎殿	中39回							
高3回	中32回	中39回	中32回	中39回	中34回	中35回	中33回		中33回	中33回	中33回	3/23	4年	3/23	4年	不	明	小野又三郎殿	中39回															
2	2	1	1	16	年	12	12	12	12	11	11	11	11	10	10	9	9	7	6	5	5	3	15	10/22	鈴木義三殿	中46回								
7	1	26	10			30	28	15	6	21	11	9	2	1	23	13	13	5	28	27	25	22	12	1	1/27	小笠原浩殿	高25回							
鹿島	北川雄	新田	荒川			貝山	春山	赤間	朴沢	石森	加藤	正宗	千葉	田代	木丈	佐藤	黒川	荒瀬	安田	本田	5/25	3/22	3/12	1/27	箭内	次郎殿	高1回							
五郎殿	貴一郎殿	治郎殿				秀正殿	良勝殿	二郎殿	元親殿	義明殿	悟殿	穂殿	寿胤殿	邦夫殿	重雄殿	定勝殿	浩殿	健殿	逸郎殿	伸夫殿	高5回	5/25	3/22	3/12	1/27	小笠原浩殿	高25回							
中40回	高1回	47回	46回			中31回	中46回	中45回	中45回	中39回	中44回	中46回	中46回	中43回	中44回	中38回	中36回	中31回	中31回	中31回	中31回	中31回	中31回	中31回	中31回									
上	げ	ま	す	(以上事務局判明分)	心からご冥福をお祈り申し上げます。	9	9	9	8	7	7	7	5	6	5	4	4	4	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
						13	11	佐々木	司殿	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回	中44回							

上
げ
ま
す(以上事務局判明分)
心からご冥福をお祈り申し上げます。

代表者会議が開催され、そうした会議の決定を受け要望書・請願書の提出と、とても嬉しい半期が過ぎ去りました。今後も会員皆様のご協力を切にお願いする次第です。

本号の記事の執筆・編集に御協力いただきました皆様に感謝申し上げ、編集後記とさせていただきます。

事務局だより

今回の会報37号は、例年より約一ヶ月早い発行となりました。特に共学化への対応の動きとして

常任委員会、総会の前後に渡って三回の常任委員会での会議が開催され、そうした会議の決定を受け要望書・請願書の提出と、とても嬉しい半期が過ぎ去りました。今後も会員皆様のご協力を切にお願いする次第です。

編集後記

PTA同窓会合同新年懇親会開催のお知らせ

平成十七年の「PTA同窓会合同新年懇親会」は、以下の日程で開催されます。多くの皆様のご出席をお願いいたします。

期日：平成17年1月19日㈬ 18時20分～

場所：仙台ホテル 3F 「青葉の間」

仙台市青葉区中央1-10-25

TEL 022-225-5171

会費：5,000円

出席を希望される方は、はがき、またはFAXで同窓会事務局までご連絡ください。

FAX 022-221-5686

TEL 022-221-5651

同窓会事務局長 戸田慶三

計
報

10/
22

黒田義三殿

門田英一殿

小田島道男殿

秀雄殿

中31回

黒田英一殿

門田英一殿

小田島道男殿

秀雄殿

中31回